

研究発表もうしこみフォーム

氏名：角道正佳

氏名のローマ字表記：KAKUDO, Masayoshi

所属：なし

専門分野：言語学

発表のタイトル：モンゴル諸語の「生まれる」を表す表現

発表要旨（600字～800字程度）：

モンゴル語ハルハ方言には自動詞 *төрөх* 「生まれる」／他動詞 *төрүүлэх* 「産む」という対立があり、格支配は主語（主格）＋自動詞／主語（主格）＋目的語（対格）＋他動詞という形式になっているのに対し、甘粛省・青海省のモンゴル系言語ではそうになっていない。モンゴル文語の *törö-*に対応する語を用いる言語（土族語）がある一方、モンゴル文語の *ol-*に対応する語を用いる言語（東部裕固語、保安語、東郷語）がある。土族語互助方言では *törö-*に対応する語が自動詞「生まれる」にも他動詞「産む」にも用いられる。土族語互助方言、民和方言とも自動詞「生まれる」の場合1, 2人称の主語は主格でなく対格・与位格で表示される。この場合 *törö-*が他動詞として機能している。モンゴル文語の *ol-*に対応する語を用いる言語のうち東部裕固語と保安語は主語が斜格（主格以外の格）で表示されるため *ol-*が他動詞の機能を保持している。しかし東郷語では主語が主格で表示されるので、*ol-*は自動詞として機能している。

動作主（産む人）を **A**、経験者（産む人あるいはその関係者）を **E**、対象（生まれる人）を **O** とすると、土族語互助方言では **A** が文中に存在する場合、**A** は主格、**O** は対格であり、**E** が文中に存在する場合は **E** は与位格、**O** 主格であると解釈できる。**A** も **E** も文中に存在しない場合 **O** は主格か対格かあいまいである。3人称代名詞がどの格で表示されるかのデータが欠如しているため決定できない。